

野村・小部野遺物散布地

調査地 加東郡社町野村字安取ほか
 調査期間 2002年 2月 4日から
 2月 5日まで
 原因 社町道野村環状線敷設事業
 原因者 兵庫県加東郡社町
 調査面積 約60m²
 調査担当 森下大輔



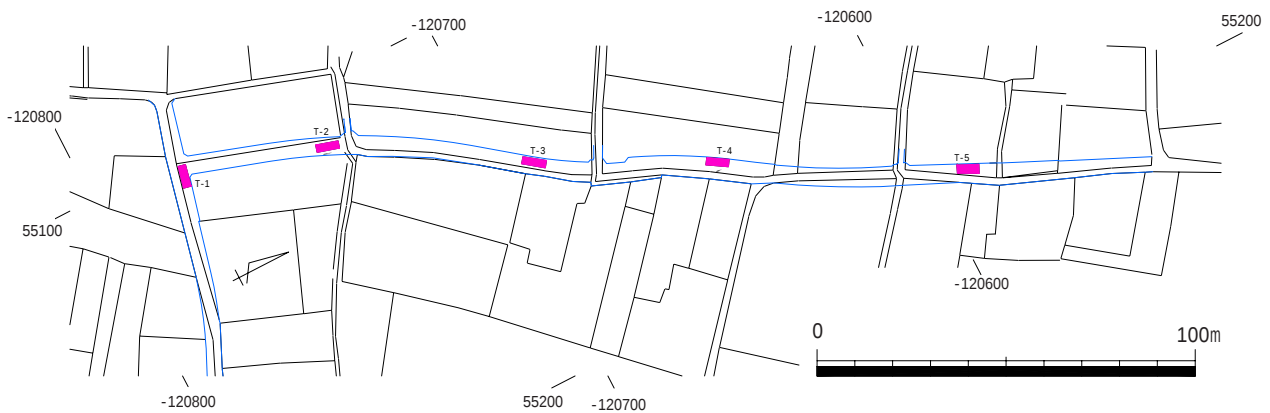
調査位置図

社 1/25000

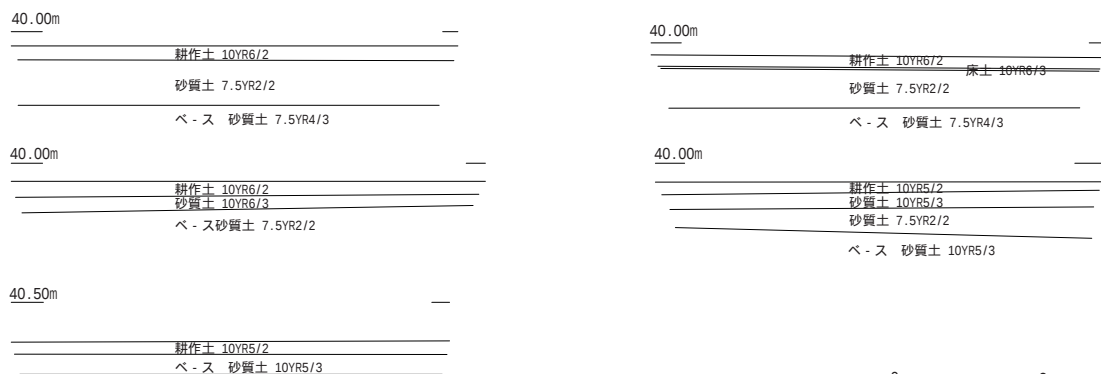
社町野村地内において町道新設事業計画があり、埋蔵文化財の照会を事業担当課である産業振興課より受けていた。この地域は『播磨風土記』にいう、小目野一帯に比定されており、少量とはいえ、遺物散布も認められたところから、周知の遺跡ではないが、確認調査を実施することが望ましい旨を伝えていた。

具体的には2月4日付社産第109号で確認調査の依頼があり、急遽当日より調査を開始した。

調査は計画用地内の5カ所にトレンチを設定し、遺構・遺物の有無に努めたが、遺構は検出されず、遺物も中世期のものが微量出土したに留まるところから、慎重に工事を実施するよう回答を送付して調査を終了した。



トレンチ設定図



断面図



景	景
T - 1	T - 2
T - 3	T - 4
T - 5	